

伝統工芸「水引」装飾品に

業者や商議所デザイナーらと開発

飯田下伊那地方の伝統工芸「水引」を使った装飾品の開発に、飯田市内の水引業者4社と飯田商工会議所が取り組んでいる。化粧品会社のポーラ（東京）やデザイナーと連携し、チョーカー（首飾り）やイヤリングなど約30種類の商品が完成。24日、同商議所で出来栄を確認した。

首飾りやイヤリングなど30種類

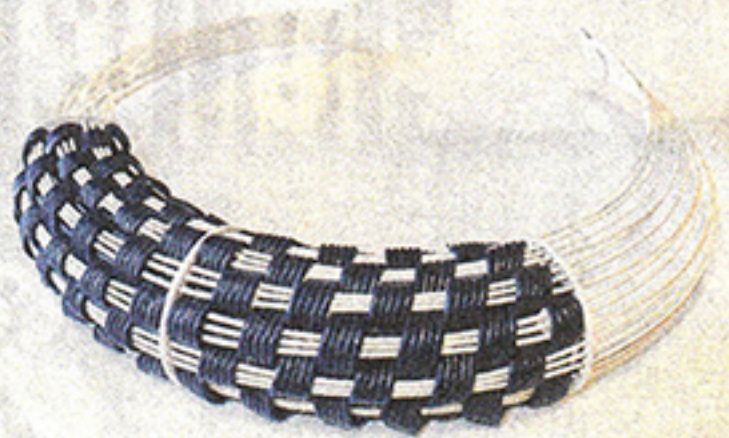
飯田

直径約15センチのチョーカーは、金属製ワイヤの土台に、水引約20本を市松模様編みに編み込んで作った。藍色や朱色、

桃色、水色などがあり、和風の華やいだ雰囲気。イヤリングやネックレス、帯留め、かんざしなども作った。いずれも4社の職人の手作りで、今年2月からチョーカーのイメージ以上の出来になっ



水引のチョーカーとイヤリングを身に
着け、打ち合わせに参加した加藤さん



水引を使ったチョーカー

た」と喜ぶ。

デザインは、装飾品作りを手掛けるクリエイティブディレクター・デザイナーの加藤尚子さん（東京）が担当。以前から飯田水引職人の技術の高さに着目していたという加藤さんが、職人との連携を提案した。「伝統工芸をジュエリーに用いることで、新たな魅力に気付いてもらえるはず」と話した。

9月14、20日は、東京・銀座にあるポーラの店舗兼ギャラリー「ポーラ ザ ビューティ銀座店」で、商品の展示販売会を開く。同社の顧客や首都圏のバイヤーらに商品をPRする計画。初日のレセプションパーティー（歓迎会）には飯田水引の職人たちも参加し、水引作りを実演する。

各商品の価格はパーティー当日に説明する予定。水引業者4社は今後も加藤さんのデザインで、新商品を開発していく構想という。関島さんは「数年かけてブランドを確立し、流通の拡大も目指していきたい」と話している。